

15日の読売新聞につぎのような記事が掲載されていました。みなさんには少しむずかしい内容かもしれませんが、注目すべきところは、高校の普通科が再編されるということ。そして、2022年の春には、新しいタイプの高校が誕生するということです。つまり、普通科が普通でなくなるということ。しかも、2022年春。みなさんが中学校を卒業し高校に進学する年のことです。記事では「文部科学省が・・・方針を固めた」とありますが、こういう表現の場合、ほぼそのとおり実施されることはまちがいありません。

むずかしい記事ですね。でも、遠い未来のことではありません。あと1年半後のことです。中学校を卒業したら、あなたは どうしたいと考えていますか。

文部科学省は、高校生の7割が在籍する高校普通科を再編し、文系・理系などの枠組みを超えた「学際融合学科（仮称）」と地域社会の課題解決を目指す「地域探究学科（同）」の2学科の新設を認める方針を固めた。

17日に文科相の諮問機関である中央教育審議会の特別部会に基本方針を示す。1948年にできた普通科を再編して学科を新設するのは初めて。早ければ2022年春にも新しいタイプの高校が誕生する。

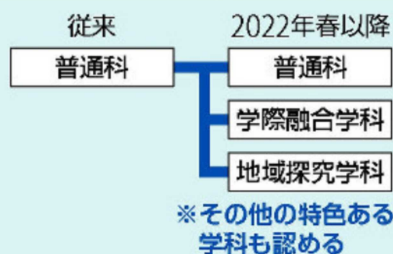
高校は都道府県教育委員会などが設置する。普通教育を行う普通科、商業・農業・工業など14学科ある専門学科、普通教育と専門教育を合わせた総合学科の3種類がある。省令により普通教育を行う高校は、普通科しか設置できず、大学入試のための画一的な教育になりがちで、特色や魅力ある教育内容に乏しいと指摘されてきた。

文科省では、普通教育を主とする高校に普通科のほか、「持続可能な開発目標（SDGs）」など現代的な課題解決を図る「学際融合学科」と、少子高齢化などの地域社会の課題解決策を探る「地域探究学科」を設置できるようにする。2学科の枠に収まらないスポーツや文化人材の育成などにあたる「その他の特色ある教育」も学科として認める。

新学科設置には、学校外の組織との連携強化を義務付ける。学際融合学科では、大学や国際機関との協定などを想定。地域探究学科は、地元自治体や企業と協力し、実践的な授業を行うよう求める。中教審は内容を詰め、来年初めにも高校改革などについて文科相に答申する。文科省は今年度中に省令を改正し、21年度からの生徒募集、22年春のスタートを可能にする。

### 高校の普通科改革の概要

#### 普通教育を主とする学科



#### 専門教育を主とする学科

- ▶工業、農業、商業、理数、体育など14学科
- ▶その他の専門教育の学科

#### 普通教育と専門教育を合わせた学科